

異常表示について

異常表示の内容を確認し、解除方法を行ってください。

その後、異常表示リセットのボタンを押してください。

異常名称	異常内容	SD カード [*] 警報番号
ホモ:容器位置注意	容器が上限位置にない時にホモミクサー運転スイッチを押すと発生します。 解除方法:容器を上限位置まで上昇させてから運転してください。	—
パドル:容器位置注意	容器が上限位置にない時にパドルミクサー運転スイッチを押すと発生します。 解除方法:容器を上限位置まで上昇させてから運転してください。	—
ホモ:容器クランプ注意	クランプホルダにクランプがかけられたまま(容器を固定していない)状態でホモミクサー運転スイッチを押すと発生します。 解除方法:容器がクランプで固定されていることを確認ください。	—
パドル:容器クランプ 注意	クランプホルダにクランプがかけられたまま(容器を固定していない)状態でパドルミクサー運転スイッチを押すと発生します。 解除方法:容器がクランプで固定されていることを確認ください。	—
容器クランプ注意	クランプホルダにクランプが掛けられていない(容器を固定したまま)状態で容器昇降スイッチを押すと発生します。 解除方法:クランプをクランプホルダにかけてください。	—
容器正立注意	容器の正立状態を検知出来ない時に容器昇降スイッチを押すと発生します。 解除方法:容器を正立状態にしてください。	—
容器圧力注意	容器内に圧力が加わったままの状態容器昇降スイッチを押すと発生します。 解除方法:容器内圧力をゼロに戻してください。	—
容器昇降注意	各ミクサー運転中に容器昇降スイッチを押すと発生します 解除方法:運転を停止させてください。	—
パドル:回転センサー 異常	パドルミクサーの回転センサー部に異常を検出した場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。解除されない場合は機器の故障 が考えられます、弊社にご連絡ください。	20
パドル:過電流 レベル弱	パドルミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	21
パドル:過電流 レベル中	パドルミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	22
パドル:過電流 レベル強	パドルミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	23
パドル:過電流 レベル故障	パドルミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	24
パドル:DC電源異常	パドルミクサーの動力電源に異常を検知した場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。解除されない場合は機器の故障 が考えられます、弊社にご連絡ください。	25

ホモ:回転センサー異常	ホモミクサーの回転センサー部に異常を検出した場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。解除されない場合は機器の故障が考えられます、弊社にご連絡ください。	30
ホモ:過電流 レベル弱	ホモミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	31
ホモ:過電流 レベル中	ホモミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	32
ホモ:過電流 レベル強	ホモミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	33
ホモ:過電流 レベル故障	ホモミクサーに定格トルクを超える負荷が加わった場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。 以後、定格電流値以内になるよう運転してください。	34
ホモ:DC電源異常	ホモミクサーの動力電源に異常を検知した場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。解除されない場合は機器の故障が考えられます、弊社にご連絡ください。	35
システム:非常停止	非常停止スイッチを押すと発生します。 解除方法:非常停止スイッチをリセットしてください。	40
システム:圧力異常	容器内の圧力が異常な場合に発生します 解除方法:計測可能な範囲を確認してください。解除されない場合は機器の故障が考えられます、弊社にご連絡ください。	41
システム:容器内温度異常	容器内の温度が異常な場合に発生します 解除方法:容器内温度センサが接続させているか確認してください。 また計測可能な範囲を確認してください	42
システム:恒温槽温度異常	恒温槽内の温度が異常な場合に発生します。 解除方法:異常リセットを押すと解除されます。解除されない場合は機器の故障が考えられます、弊社にご連絡ください。	43
システム:恒温槽レベル	恒温槽の水量が不足すると発生します。 解除方法:恒温槽の水量を確認してください。	44
システム:昇降サーマル	昇降モータのサーマルリレーが作動すると発生します。 解除方法:過負荷状態になっていないか確認してください。	45
システム:真空ポンプ サーマル	真空ポンプのサーマルリレーが作動すると発生します。 解除方法:過負荷状態になっていないか確認してください。	46
システム:恒温槽ポンプ サーマル	恒温槽ポンプのサーマルリレーが作動すると発生します。 解除方法:過負荷状態になっていないか確認してください。	47

トラブルシューティング

	異常の現象	原因	対処方法		
			お客様で できる対処	関連項目	弊社に ご連絡下さい
タッチ パネルの 表示	ホモミクサー 異常※1	過負荷	負荷を減らす。 (回転数、処理 量、粘度、比重等 を下げる)		
		攪拌部に異物がかみこむ	攪拌部の分解・洗 浄	P33、43	修理が必要な 場合
		タービン軸受の焼き付き	軸受部の分解洗 浄・交換	P43	修理が必要な 場合
		ベアリングの焼き付き			ベアリング交 換
		モータの異常			モータ修理・ 交換
	パドルミクサー 異常※1	過負荷	負荷を減らす。 (回転数、処理 量、粘度、比重等 を下げる)		
		攪拌部に異物がかみこむ	攪拌部の分解・洗 浄	P33	修理が必要な 場合
		ベアリングの焼き付き			ベアリング交 換
		モータの異常			モータ修理・ 交換
	昇降モータ 過負荷	障害物がある	障害物を取り除 く		修理が必要な 場合
		モータの異常			モータ修理・ 交換
	真空ポンプ 過負荷	水などの液体の吸引	吸引しない	P31、32	修理が必要な 場合
		長時間のクリーニング 運転	3～5 分間の運転		
		モータの異常			モータ修理・ 交換
	恒温槽ポンプ 過負荷	締め切り状態での長時間 運転	締め切り状態に なる場合は、運転 を止める	P28、29	修理が必要な 場合
		モータの異常			モータ修理・ 交換
	恒温槽 レベル低下	恒温水槽の水位低下	恒温水槽に給水 する	P28	
		センサの異常			センサの交換
	温度異常	ヒータの運転異常	恒温水槽又は容 器内の温度を下 げる		制御ソフトの 修正
		センサの異常			センサの交換

※1. 「ホモミクサー異常」、「パドルミクサー異常」が表示された場合は、異常リセットボタンを押してリセットしてください。

	異常の現象	原因	対処方法		
			お客様で できる対処	関連項目	弊社に ご連絡下さい
タッチパネルの表示以外の異常	攪拌部の回転がスムーズでない・異音が出る	ベルトの摩耗	ベルトを交換する	P41、42	お客様での交換が困難な場合
		ベアリングの摩耗			ベアリング交換
		タービン軸受の摩耗	軸受部の交換	P43	
		攪拌翼・シャフトの変形			該当箇所の交換・修理
		モータの異常			モータ修理・交換
		攪拌部の取り付け不良	攪拌部を取り付け直す	P33	
	カバーが熱くなる	冷却ファンが停止している	ファン回転の障害物を取り除く		修理が必要な場合
		冷却ファンの前に障害物がある	障害物を 20cm 以上遠ざける	P3	
	真空引きが出来ない又は真空漏れが早い	クランプを使用していない	クランプを使用する	P7	
		バルブ類の閉め忘れ	ホッパー部・真空ブレイクバルブを閉める	P30	
		シール部品の損耗	シール部品の交換		お客様での交換が困難な箇所の場合
	恒温水槽を運転出来ない	恒温水槽の水位が低下している	下限水位以上になるまで給水して下さい	P28	修理が必要な場合
		循環ポンプの異常			モータ修理・交換
		ヒータの異常			モータ修理・交換
	冷却水の流量が低下した	減圧弁のストレーナにゴミが溜まっている	ストレーナを水洗いして下さい		
	処理液中へのオイルシール摩耗粉の落下が多い	処理液・洗浄液の入れすぎで、シール部に液がかかる	容器には攪拌量以上の液を入れないようにする	P4、5	
		シール部の材質が処理液に耐性がない	処理液の変更		オイルシールの材質変更

アフターサービスについて

修理を依頼される時

修理を依頼される前に、本取扱説明書をよくお読みください。
再度点検をされても異常がある場合は、以下の点をお調べの上、弊社までご連絡ください。

- 使用機器 アデホモミクサー 2 M－2／5 型

 - お調べいただく点
 - 製造番号 □□□□□□□□□□
 (本体銘板に刻印された 10 桁の英数字です)
 - 機械の状況 詳しくお知らせください。

 - ご連絡先

プライミクス (株)
サービス部フリーダイヤル
受付時間 (平日) 9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
西日本 : 0 1 2 0 - 8 6 1 - 3 9 3
東日本 : 0 1 2 0 - 8 6 2 - 3 9 3